

「若き血」

1925（大正14）年に早慶戦は復活したものの、義塾野球部は早稲田に勝利できないでいました。そこで、1927年、「都の西北」に対抗できる歌をと、当時の予科会の学生たちが自らの意思で発議し、塾員の音楽評論家野村光一の推薦で堀内敬三に作詞作曲を委嘱しました。



「若き血に燃ゆる者 光輝みてる我等」で始まる五・五・六・三の破調は、従来の七五調や五七調と異なった新鮮な躍動があり、三田大ホールでの発表演奏会では繰り返し演奏を求める拍手と歓呼の連続となりました。間もなく迎えた早慶戦では、2連勝。これをきっかけに義塾野球部は黄金時代を迎えるとともに、日本全体に早慶戦ブームが起きます。そして瞬く間に義塾を代表する応援歌となりました。ちなみに、この「若き血」に対抗しようと作られたのが早稲田大学の「紺碧の空」です。

「丘の上」

「丘の上には空が青いよ ざんなんに鳥は歌うよ歌うよ」、「窓を開けば海が見えるよ 朗らかに風は渡るよ渡るよ」と、三田山上の情景を歌った「丘の上」。「若き血」と双璧をなす慶應義塾の代表的なカレッジソングです。

1928年に、同じく予科会の委嘱により作られ、野球部が10戦全勝の優勝を決めた直後の11月17日に大講堂での秋季予科大会において発表されました。そのゆるやかなテンポと牧歌的な歌詞が、肩を組んで勝利の喜びをかみしめるのにふさわしいことも手伝い、以来、早慶戦に勝利したときに歌う曲として歌い継がれています。



2011年春、三田山上での優勝祝賀会

塾員の皆さま対象「慶應連合三田会学びのWebセミナー」

慶應義塾と慶應連合三田会は共同で「慶應連合三田会学びのWebセミナー」を開催しています。第5回として山内慶太君（慶應義塾常任理事）の「KEIO スポーツの特質—エンジョイ・ベースボールを通して—」をテーマとした講演動画をアーカイブ配信しています。ぜひご覧ください。

※初めてデジミタを利用される場合は、会員登録（塾員限定、利用料無料）が必要です。



社中 の丘

「卒業生のページ」

Keio University



社中とは、慶應義塾を構成している全ての人を包含する総称です。このページでは特に塾員（卒業生）の方に向けた情報をお伝えします。

慶應義塾公式グッズのご紹介

慶應公式グッズ

検索



URL <https://keiigoods.jp/>

慶應義塾の取り組みを伝える商品をはじめ、おすすめの公式グッズをご紹介します。売り上げの一部は奨学金として塾生に還元されています。(価格は全て税込)

純米大吟醸 智徳 2023 (5,800円)

バイオベンチャーや新素材スタートアップ企業を生み出している鶴岡タウンキャンパスの先端生命科学研究所によるメタボローム解析技術を用いて開発された『智徳』は、2023年版もシャープで切れ味のある味わいに仕上がりました。例年より酒化率が低い中で、大切に品質重視でつくられた貴重な一品です。山形県産の大吟醸用のお米「雪女神」を100%使用しています。



「独立自尊」湯呑み (1,750円)

「独立自尊」(福澤諭吉筆)の文字をゴールドカラーでエンボスデザインした、温かみのある風合いの湯呑みです。底面にはペンマークが入っています。



BRB リボンティッシュカバー (3,850円)

BRB リボンサコッシュ (7,500円)
クッションカバー (ペンマーク・エンブレム)
(5,500円 [中材別売])

慶應オリジナルの柄をプリントした生地は、各地の伝統ある祭りの山車を飾る幕や舞台の緞帳、また夏の甲子園で授与される、深紅の大優勝旗を作成するメーカーが手掛けました。

※ティッシュカバーには市販の箱ティッシュが入れます。



やばけい 耶馬溪のお茶

(プレミアム ティーバッグ12P入り)
(単品990円、3個セット
[箱入り] 3,300円)

福澤諭吉は、故郷大分県中津市にある耶馬溪(よまがせ)秀峰の山々の景観を開発から守るため、私財を投じて土地を購入しました。耶馬溪の自然の中で栽培され、磨き上げた製茶の技術で心を込めて仕上げられた一品です。



取り扱い・お問い合わせ先

慶應義塾三田
インフォメーションプラザ1階
電話：03-5427-1436

三田会活動支援と個人情報保護の両立への取り組み

塾員(卒業生)の氏名、自宅住所、卒年、学部、メールアドレス等の個人情報については、慶應義塾が定める「個人情報保護基本方針」「個人情報保護規程」の下に慶應義塾塾員センターで管理しております。評議員選挙投票用紙や広報誌等を送付する際に使用いたします。

また、三田会やクラス会等の同窓会活動の支援に限定して、所定の書式に複数名の同窓会の役員の方の署名捺印のうえ、個人情報管理体制に問題がないことが確認できた場合に氏名、自宅住所の情報を提供しております。

慶應義塾からの送付物を望まない場合や同窓会への情報提供を望まない場合は、慶應義塾塾員センター Web サイトの住所等変更届け出フォームあるいは書面にて届け出てください。届け出がない場合は、原則として「送付可」「提供可」といたします。なお、「送付不可」と届け出された場合でも、評議員選挙投票用紙等、慶應義塾から特にお知らせしたい送付物は、原則として送付いたします。

個人情報保護に十二分に配慮したうえで、社中のつながりが広がるよう同窓会活動の支援に取り組んでまいります。

住所変更等の届出

改姓、転居等で氏名や自宅住所あるいは勤務先の変更があった場合には、以下のいずれかの方法で塾員センターにお届けくださいますようお願い申し上げます。

1. メールフォーム URL <http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html>
2. FAX 03-5427-1546
3. 郵送 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾塾員センター

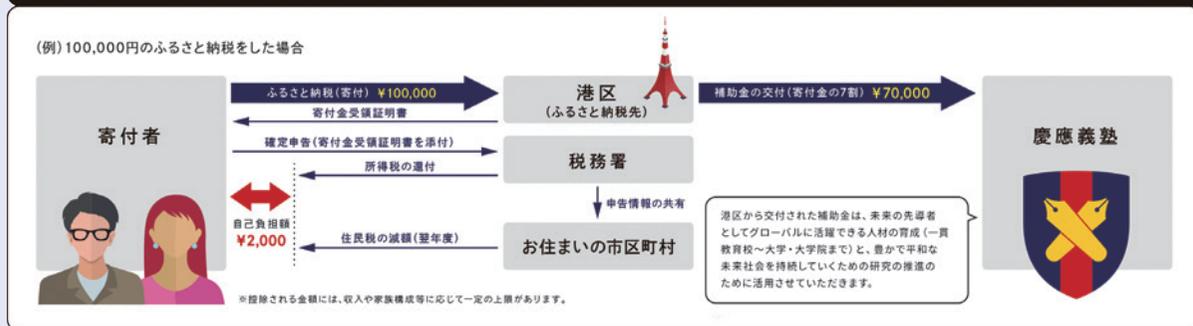


※1の方法による場合は、メールアドレスも塾員情報としてお預かりいたします。なお、2・3の方法による場合は、氏名・卒業年、学部、生年月日、自宅住所、電話番号(自宅および携帯)、勤務先を記載のうえ、お届けください。

✂ 東京都港区版「ふるさと納税制度(団体応援寄付金)」による 慶應義塾へのご支援のお願い

慶應義塾が社会の先導者として次の世代にバトンを「つなぐ」ためには、地域社会との連携が不可欠です。三田キャンパスのある東京都港区には、ふるさと納税制度により港区内の公益的な活動をする団体を応援できる「ふるさと納税制度(団体応援寄付金)」があり、この制度を通して慶應義塾を応援いただくことができます。区の取り決めにより対価性を伴う物品等の返礼品はございませんが、「塾生の成長」と「教育・研究・医療を通じた全社会への貢献」が返礼となるように努めてまいります。

ふるさと納税で港区に寄付をした場合、自己負担額の2,000円を除いた全額が所得税や個人住民税から控除されます。



寄付の申込方法

URL <https://kikin.keio.ac.jp/furusatotax/>



- ①上記の基金室 Web サイトにアクセスし、「申し込みはこちら」より、必要事項をご入力の上お申し込みください。
※申請いただいた情報をもとに、慶應義塾から港区へ寄付の申し込みをさせていただきます。
- ②慶應義塾より申請完了メールが届きます。
- ③2週間程度で港区より「納付書」が送付されますので、届きましたら指定の金融機関の窓口にてお振り込みください。
※納付後、港区より「寄付金受領証明書」が送付されます。

注意事項

- ・個人の方が対象です。
- ・東京都港区在住の方でもご寄付いただくことができます。
- ・確定申告が不要な給与所得者等の方は、一定の条件のもとであれば、確定申告をしなくても寄付金控除が受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」が利用できます。
- ・本制度を利用した場合は港区への寄付となるため、寄付金受領証明書は港区から発行されます。慶應義塾からの領収証の発行はありません。
- ・『三田評論』へのご芳名の掲載はございません。
- ・寄付金の申し込みに係る個人情報については、慶應義塾が定める「慶應義塾個人情報保護基本方針」および「港区個人情報保護条例」に基づき適正に管理し、寄付金の業務以外には使用しません。なお、慶應義塾からのご案内をお送りさせていただく場合がございますのでご理解くださいますようお願いいたします。

ご参考

総務省「ふるさと納税」ポータルサイト



ふるさと納税ワンストップ特例制度のご案内



お問い合わせ先

港区版ふるさと納税制度「団体応援寄付金」について

申込方法について



港区 団体応援寄付金

検索

慶應義塾基金室

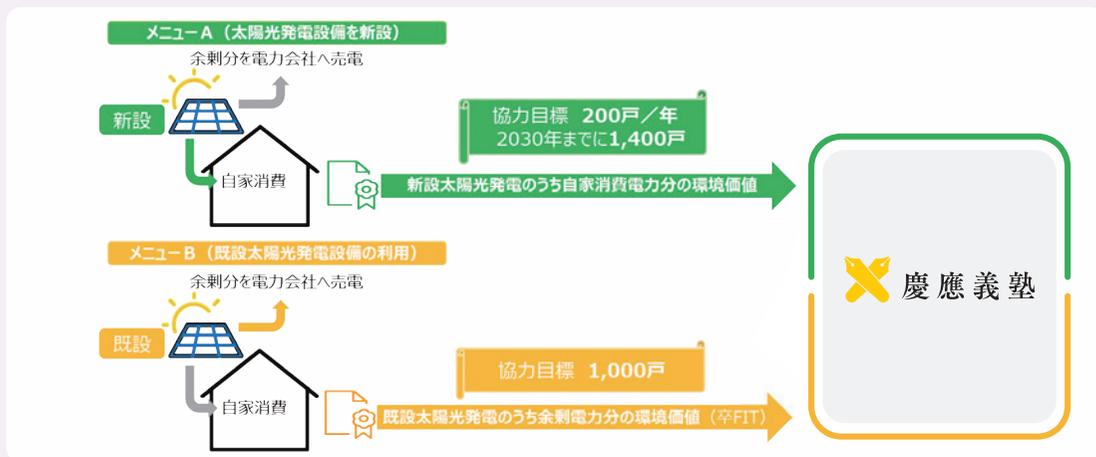
電話：03-5427-1898 (平日 10:00 ~ 15:00)

✂ 慶應義塾のカーボンニュートラルに向けて

慶應義塾は、2030年に電気使用量の全てを自然エネルギーに転換することを目指しています。大学には6つのキャンパスがあり、大学病院や一貫教育校も含めると、それぞれのエネルギー使用量、使用形態、オンサイト太陽光発電のポテンシャルなどの条件は大きく異なっています。これらのキャンパスの特徴も勘案して、カーボンニュートラルに向けた具体的な検討をおこなっています。特に、湘南藤沢キャンパス（SFC）については、カーボンニュートラルのモデルキャンパスとして、自然エネルギー電力への転換を実現するロードマップを作成し、他キャンパスに先行して、太陽光発電システムの設置計画を進めています。一方、キャンパスで使用するエネルギーの全てを、オンサイトの自然エネルギーで賄うことは不可能です。その解決策のひとつとして、SFCではカーボンニュートラル都市ガスを導入することで、キャンパスで利用する都市ガスの全量をカーボンオフセットしています。

さらに、2022年11月から東京電力ホールディングス株式会社とカーボンニュートラル社会の実現を目的とする連携協定を締結しています。この連携協定に基づき、東京電力エリア内の戸建て住宅に既設あるいは新設した太陽光発電システムによる発電に付加される「環境価値」を、慶應義塾のカーボンオフセットに活用する取り組みを開始します。ご提供いただくのは環境価値だけで、電気の使用に関する制約はありません。300戸の太陽光発電によって、神宮球場1個分のメガソーラーに相当する電気を発生させることができます。この取り組みの詳細につきましては、2024年1月（予定）に慶應義塾 Web サイトにてご案内いたします。ご自宅の太陽光発電システムが生み出す環境価値を結集し、メガソーラーに相当するカーボンオフセットをすることによって、慶應義塾のカーボンニュートラルに貢献する新たな社中協力の取り組みについて、より多くの皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社中協力×カーボンニュートラル計画 家庭で生み出された「環境価値」を結集して慶應義塾のカーボンニュートラル化に貢献!



申し込み開始時期（見込み）
メニューA（太陽光発電設備を新設） 2024年1月中
メニューB（既設太陽光発電設備の利用） 2024年4月
※お申し込みには条件があります。